

茨木市障害者地域自立支援協議会定例会(第131回)議事録

令和6年10月24日(木)10:00~10:55

Zoom形式での開催

司会:あゆむ

書記:藍野療育園

1 相談支援体制の変更について(福祉総合相談課より報告)

南圏域 玉島・葦原小学校区:障害者基幹相談支援センター(福祉総合相談課内)から、慶徳会障がい者相談支援センターに変更。

2 10月事務局会議の報告について(障害福祉課より報告)

【資料①】10月事務局会議議事録

定例会構成機関の整理について...6 その他参照

【資料②】10月事務局シート、協議会パネル(案)

添付資料は作成途中のもの。11月定例会で再度確認予定。(福祉総合相談課)

3 定例会メンバーからの報告・意見交換

(8月定例会シートからの追加事項)

- タクト相談支援センター:相談員1名入職の報告。
- 事業所連絡会:研修会実施・開催予定の報告。
11/4 感染対策研修
3/7 虐待防止研修「身体拘束について」

4 令和6年度第2回全体会について(R7.1.16(木)13:30~)(福祉総合相談課より)

【資料③】第2回全体会スケジュール(案)

日時、開催場所、議題の確認。資料の確認は次回定例会にて行う。

5 令和7年度第1回全体会の資料について(福祉総合相談課より)

・令和6年度障害者相談支援事業実績報告及び令和7年度事業計画について

(質問)

委託の実績評価における相談件数(実件数・新規件数・延べ件数)記載の目的・意図、数値評価が必要な背景について

(回答)

- 地域ごとの相談の指標・状況をみるための数値であり、数ですべてを評価するつもりはない。事業所により役割の違いや地域差があるが、それは事業所の特色の部分で補足すれば良いと考えている。
- 地域による人数状況、繋がりやすさという点での評価と考えている。数値を出すと数字の大きさに注目されがちだが、地域特性や相談方法、どんな相談があるのかも表す。
- 数から見えてくるものもあると考えている。例えば、人口は多いが相談が少ない場合、潜在的に相談者がいるのではないか、等。

- ・実際、数字での評価に対しての質問は出るだろうことを踏まえ、掲載することを考えている。
 - ・地域包括支援センターの実績報告でも掲載されている。(福祉総合相談課)
- (意見)
- ・全体会資料はインターネットにも掲載される。評価項目各々の目的を明示し、特に数値についても市民等にも読み取るときの留意点を記載して欲しい。(相談員)
 - ・委託連絡会で議論し、それを定例会等で共有したらどうか。(事業所連絡会)
 - ・評価の表し方等、記載方法は今後事務局等で検討する。(福祉総合相談課)
- ・令和6年度協議会取組報告と令和7年度計画について

【資料④】企画シート・振り返りシート

6 その他

- ・定例会構成機関の整理

(質問)

- ・これまで全相談支援事業所へ参加を依頼していたが、事業所数が増加し、相談員が構成メンバーの多数を占めている。相談支援事業所の参加ルールを決め、発言しやすくなるよう、参加機関のバランスを良くしたい。現在定例会参加の方々は相談支援事業所の数について、どのくらいなら良いか、また、どんな人の参加が良いか。(福祉総合相談課)

(意見)

- ・現在の定例会が連絡事項の報告や事務局で決まったことの承認など、形式的になっている、発言しづらい、本音が言いにくくなっている、どうしたらより意義のある会議になるのかを考え合う必要がある、という意見が多数。
- ・以前は定例会でグループワークをし、地域課題を出す等行っていた。多機関の集まる場なので、協議会の存在意義に立ち戻って話し合うのは大事。
- ・相談支援部会で吸い上げた課題をこの場で検討する。逆に、ここから相談支援部会に持ち帰る流れもあるだろうし、地域のことを話題に盛り込んだらより活性化するだろう。
- ・事務局会議で地域課題が上がっているのなら、定例会の議題にあげたら良い。
- ・ここでしか会えない関係機関もある。もっと情報共有したい。
- ・避難所PTをなくしても、災害の取組は各部会で続けるとした。個別避難計画の他市進捗等、災害の話題があっても良い。
- ・定例会シート「③取組における課題や悩み等」を活用し、事前に記載があれば議題に盛り込む。(福祉総合相談課)
- ・定例会シートに記入したもの全てが議題になるかは不明だが、お互いに歩み寄っていける場であってほしい。
- ・個別支援会議のなかで解決できない課題があれば定例会シートに記入し、共有したうえで、地域課題になるかどうか、部会等で取り組むか等を検討するのはどうか。
- ・事務局会議のメンバーは委託相談員がメイン。計画相談員が主催する個別支援会議の内容が委託相談員の元に届き、事務局会議で精査し、課題についての思いを聞く、といった仕組みができていないので目についたことしか話題にならない。会議の中で残った課題や個別課題で解決しきれなかったものを集約する仕組みづくりが前段階で必要ではないか。

- ・ まず事務局会議の中でそういう話をしないといけないと思う。事務局が協議会のエンジンのはずが裏方みたいなことしかできていない。

→事務局、委託連絡会で検討を行う。

・協議会の周知・啓発について

- ・ 昨年のような大規模な啓発活動は行わず、必要に応じて啓発を行っていきたい。
12月おにも見にクリアート展にて参加予定。

・その他

- ・ かしの木園より告知: 11/16(土)に来年度から始まる就労選択支援について講習会を予定している。講師は厚生労働省の就労選択支援担当の方。現状をお話しいただく予定(要申込)。
- ・ 報告: 茨木保健所で災害時の医療的ケア児者の避難訓練のことが新聞に掲載されていた。
- ・ 福祉総合相談課より: 茨木市相談支援事業所開設等補助金について周知されてきて、事業所が増えてきている。令和8年までに計画相談利用率50%を目指している。現在36%くらい。

○次回の定例会は、11月21日(木)10時~

場所: 茨木市役所 南館8階中会議室

進行: あい・あい、ぽぽんがぽん